

慶應義塾大学DMC研究センター
第14回シンポジウム

情報と人間

—情報システムはどこまでコンテクストに寄り添えるのか？



2026年3月17日(火)

14:00～17:00 (13:30開場)



場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎シンポジウムスペース

開催形式：対面・オンライン配信

入 場 料：無 料

* 申し込みフォームによる事前登録をお願いします

人類は、価値ある情報を得るために古くは図書館、昨今では検索エンジンや生成AI等のシステムを利用してきた。しかしこれらは工学的制約により、情報を一般化・カテゴリー化して設計されているため、一人ひとり異なる「価値ある情報」が提供しきれない矛盾を抱えている。本シンポジウムでは、真に個人に向き合う情報システムの構築は可能かという問いに挑むべく、図書館情報学、社会学、工学、哲学等の視点から議論を行う。

プログラム概要

第1部 招待講演 (14:00~15:00)

池谷のぞみ 慶應義塾大学文学部教授

状況に埋め込まれた行為を記述すること：
システム開発研究への含意を考える



池谷のぞみ

佐藤千尋 慶應義塾大学メディアデザイン研究科准教授

信頼される情報サービス



佐藤千尋

第2部 DMC研究紹介 (15:00~15:30)

杉浦裕太 慶應義塾大学理工学部准教授

コンピュータと創造性



杉浦裕太

シン・アンドリュー 慶應義塾大学理工学部助教

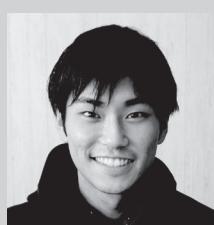
LLM時代の法律



シン・アンドリュー

山下剛志 慶應義塾大学DMC研究センター特任助教

パーソナライズを工学する
—機械化と汎用化の壁—



山下剛志

第3部 パネルディスカッション (15:45~16:45)

●パネリスト

池谷のぞみ 佐藤千尋 杉浦裕太
シン・アンドリュー 山下剛志

●モデレーター

見上公一
慶應義塾大学理工学部准教授



見上公一